

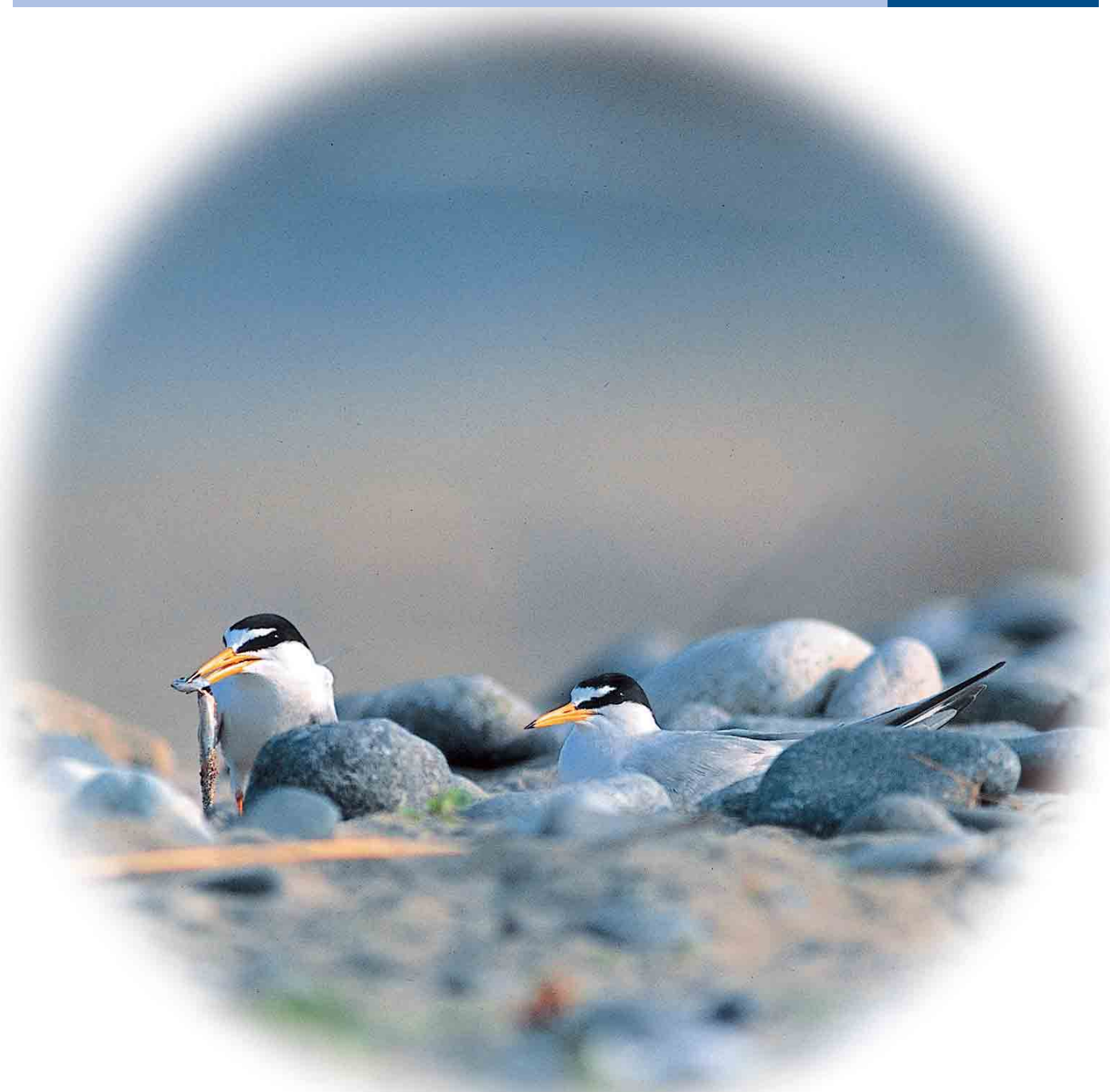
議会だより



白山市

第 9 号

2007
平成19年8月



「初夏を告げるコアジサシ」●写真提供：濱上清隆さん(長屋町)

【目次】

平成19年第1回臨時会・6月定例会概要

- ・スキー場対策特別委員会の意見……………2
- ・市営スキー場の運営方針……………3
- ・統合小中学校建設請負契約を承認……………4

- 一般質問……………6
- 議会レポート……………13
- 常任委員会レポート……………14
- 子どもの声・編集後記……………16

臨時会概要

平成19年第1回市議会臨時会
5月23日(水)

6月定例会概要

平成19年第2回市議会定例会
6月5日(火)～21日(木)

臨時会においては、老人保健特別会計補正予算案1件、統合小中学校建設工事に関する事件処分案3件、専決処分の承認13件が提案され、可決または承認しました。

6月定例会においては、補正予算案2件、条例案1件、事件処分案4件、議会議案2件の合計9件をすべて可決し、人事案では、人権擁護委員候補者の推薦を答申しました。

市営スキー場の運営方針を示す

白山市のスキー場のあり方については、合併協議会において「合併後に検討する」とされてきました。

市議会では、市の観光振興施策や白山ろく地域振興策及びスキー産業の将来性、さらに市の財政状況を総合的に勘案し、抜本的な改善策が必要であるとの認識から、スキー場問題は重要課題の一つととらえ、昨年12月にスキー場対策特別委員会を設置し、この問題について、協議を重ね、そのあり方を検討してきました。その結果を6月定例会の冒頭に、委員長が報告しました。

市長からも、市議会スキー場対策特別委員会の意見、白山市観光戦略会議による「白山市営スキー場の活用を時代に即した運営方法等について」の答申」を踏まえ、市営スキー場の運営方針が示されました。

スキー場対策特別委員会の意見

1 総体的な意見

・入り込み客数がピーク時の3分の1に落ち込むなど、スキー場を取り巻く厳しい現状から、将来的には、白山市では民営、市営を問わず、暖冬でも運営可能な2カ所程度のスキー場が適当である。

2 市営スキー場に関する意見

・スキー場の運営は、原則として民間資本、地元資本、NPO等による運営とし、市は運営に携わらない。

・民間事業者等があるかどうかを見極めるための期間を、来シーズンを含め最長2シーズンとする。民間事業者等が全くなかった場合は、白山ろく地域振興、観光推進及びスノースポーツ振興の観点から、市営スキー場を1カ所ないし2カ所運営する。また、民間資本の募集は早期に行い、地元資本、NPO等の設立に際しては、地元の意向を十分に反映し、協力体制をとる。

・民間事業者等が現れるまでの運営形態としては、従来どおり運営するスキー場は、白山一里野温泉スキー場と金沢セイモアスキー場の2つにとどめ、残りの3スキー場は休止して、民間資本、地元資本、NPO等が現れるのを見極める。休止する地域に対しては、地域活性化策のため、行政が地元と協議の上、今後進めていく。

・白峰温泉スキー場については、スノースポーツの観点から、体育施設として県に対し、県営あるいは県の支援を強く要請し、その推移を見守った上で判断する。

3 白山瀬女高原スキー場に関する意見

・白山一里野温泉スキー場、金沢セイモアスキー場、白山瀬女高原スキー場を一体的に運営する民間事業者が現れたときは、議会として協議した上で、運営についての方向性を見出す。

・現状の運営となる場合、今後運営支援は行わないこととするともに、運営には一切携わらない。しかし、これまでの借入金に対しては従来どおり負担する。

市議会スキー場対策特別委員会の

市営スキー場の運営方針

金沢セイモアスキー場及び白山一里野温泉スキー場

平成19年度は通常どおり営業します。なお、両スキー場については、民営化を積極的に推進するとともに、白山ろくにおける冬季の観光の中心的役割を果たす観光産業としての位置付けを確立し、第三セクターの白山瀬女高原スキー場との一体的な運営による民営化を検討することにしました。

白山中宮温泉スキー場

集客力やゲレンデ状況などを踏まえ、平成19年度以降の営業を休止することとし、スキー場エリア全体の活用策について、地元と協議することにしました。

鳥越高原大日スキー場

平成19年度は崩壊したゲレンデの整備工事を行い、今後、公営企業としてのスキー場からスノースポーツをはじめとする社会体育施設への転換について、地元と協議することにしました。

白山白峰温泉スキー場

全国中学校スキー大会が平成20年2月に開催されることから、平成19年度は60日間程度の営業とし、今後、競技施設としての活用策を県、地元と協議することにしました。

スキー場対策については、白山市民の一体感の醸成をはじめ、観光の推進や地域振興など、今後の白山市を大きく左右するものであり、慎重な取り組みを要しますが、本市財政の厳しい現状を見て、早急な解決を求めるものですが、まだ多くの課題が残されていることから、市議会において今後も継続して審議していきます。

6月補正予算の主な内容

一般会計

・スキー場エリア振興調査費

100万円

観光事業特別会計

スキー場等指定管理料、リフト保守点検、圧雪車等修繕料及びゲレンデ修復工事

・金沢セイモアスキー場

7300万円

・鳥越高原大日スキー場

7580万円

・白山一里野温泉スキー場

7800万円

・白山白峰温泉スキー場

5600万円



協会によるゲレンデの草刈り（鳥越高原大日スキー場）

白山ろくの豊かな自然環境に調和した 「統合小中学校の建設工事請負契約を承認

去る5月23日(水)に開催された、平成19年第1回市議会臨時会において白山ろく統合小中学校建設工事にかかる校舎棟建築工事、屋内運動場棟建築工事及び電気設備工事の請負契約の締結をそれぞれ承認しました。

校舎棟建築工事

請負金額 11億229万円

契約業者 治山社・丸石・木田工業特定建設工事共同企業体

屋内運動場棟建築工事

請負金額 5億316万円

契約業者 白山・村特定建設工事共同企業体

電気設備工事

請負金額 1億9950万円

契約業者 中京電設

5月30日、尾口小中学校の敷地内において、白山ろく統合小中学校の校舎及び屋内運動場の起工式が挙行され、平成20年7月の完成をめざして建設工事が着工されました。統合小中学校は、平成20年4月に、現在の吉野谷小中学校の校舎を利用して、吉野谷小中学校及び



統合小中学校起工式

尾口小中学校並びに白峰中学校の児童・生徒が一堂に集い、開校され、夏休み明けの新学期から新しい校舎に移り、授業が開始される予定です。

なお、校名については、5月31日に開催された教育委員会において、「^{はくろく}白嶺小中学校」と決定しました。白嶺の「白」は白山を、「嶺」は山の峰を表す言葉であり、白銀に輝く霊峰白山の峰々を象徴する校名が付けられました。

駅周辺の駐車場不足を解消 立体駐車場建設工事が着工

松任駅南土地画整理事業の一環として、かねてより計画を進めている立体駐車場と健康増進施設を核テナントとする複合施設の建設は、来春完成をめざし、5月26日に工事の安全祈願祭及び起工式が執り行われました。

県内初の官民共同事業で、賑わいと活力が溢れる施設としての整備が進められます。今後、立体駐車場と市営駐車場との管理一元化の検討が必要であり、そのことにより、駅周辺の駐車場不足の解消が図られ、利便性の高い快適なまちづくりが推進されます。



(仮称) 松任駅南複合型立体駐車場完成予想図

冬の助っ人 ロータリー除雪車を購入

平成19年第2回市議会定例会において、ロータリー除雪車1台の購入契約を承認しました。

金額 2740万5千円
契約業者 千代田組北陸支店



ホイールローダー

白山市の花、木、鳥のシンボルを募る

合併3周年を記念し、さらなる市民の一体感の醸成を図り、白山市への愛着と誇りを持つことができる魅力あるまちづくりに取り組むため、市のシンボルとなる花、木及び鳥を制定することになりました。

市民の皆さんにアンケート調査を行い、11月3日の市政功労者表彰式で発表の予定です。

■合併前市町村の制定状況

	花	木	鳥
旧松任市	菊	松	うぐいす
旧美川町	あんず	くろまつ	—
旧鶴来町	アジサイ	スギ	—
旧河内村	ふじ	きり	—
旧豊谷村	やまゆり	ケヤキ	—
旧鳥越村	ささゆり	すぎ	—
旧尾口村	山ゆり	杉	うぐいす
旧白峰村	しゃくнаげ	杉	—

3月専決補正予算 会計別予算総括表 (単位：万円)

会計名	3月補正予算後	3月専決補正	補正後予算
一般会計	489億2,296	△3億4,943	485億7,353
特別会計	363億8,184	△5億6,333	358億1,851
国民健康保険特別会計	94億1,972	△1億8,941	92億3,031
事業勘定分	91億9,087	△1億8,941	90億146
直診勘定分	2億2,885	—	2億2,885
老人保健特別会計	96億2,409	△2億2,151	94億258
介護保険特別会計	58億6,438	13	58億6,451
簡易水道事業特別会計	3億5,779	△1,049	3億4,730
墓地公苑特別会計	3億7,471	△9,490	2億7,981
観光事業特別会計	24億3,734	△3,602	24億132
温泉事業特別会計	7,999	△223	7,776
下水道事業特別会計	81億7,935	△890	81億7,045
宅地造成事業特別会計	2,288	—	2,288
湊財産区特別会計	2,159	—	2,159
水道事業会計	25億2,945	—	25億2,945
工業用水道事業会計	5,026	—	5,026
合 計	878億8,451	△9億1,276	869億7,175

【意見書】

能登半島地震災害の復興支援に関する意見書

能登半島の豊かな自然と伝統産業の再興、貴重な文化財を守り、被災自治体と地域住民の要望に沿って復興再建を図るため、「被災者生活再建支援法」を抜本的に見直し、煩雑な支給要件の改善などを強く要望する。

異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書

異常気象は、地球温暖化による疑いが濃厚であると多くの識者が指摘しており、環境立国をめざす日本においては、確実に地球環境をむしばんでいる地球温暖化を防止するため、抜本的な施策を講ずることを強く要望する。



宮岸 美苗

Q スキー場休止後の地域振興策は住民参加型で

A 地域住民の話し合いの中で事業計画を進める

耐震化の推進、災害時の情報伝達、要援護者対策

質問 家屋の耐震診断・工事の補助拡充と周知を図れ。

建設部長 補助金額は他の市の状況を見て決めている。広報・ホームページで知らせているが、さらに周知に努める。

質問 保育所の耐震化を進めよ。

健康福祉部長 市立保育所24カ所中13カ所に耐震診断が必要。施設整備計画策定に向け、早急に実施したい。

質問 電話回線不能のときの情報伝達の整備が必要だ。

市長 音声告知放送、あさがおテレビの文字放送で情報伝達できるが、これが使えず地域が孤立するような場合、各支所の衛星電話を使う。また、広報車の巡回、

地域の拠点に職員派遣など迅速に対応したい。

質問

災害時に援護が必要なる人の情報を、行政や町会が共有できるシステムづくりを急げ。その際、要援護者が自主的に名乗って登録してもらう「手挙げ方式」を採用してはどうか。

健康福祉部長

民生・児童

委員に、一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者の実態調査・マップづくりを依頼しており、情報の把握に努めているところだ。障害を持つ人についても、対象者の範囲を検討しているところだ。

防災関係機関での情報の共有化については調整中だ。

町内会への情報の提供は、該当者に同意書もあうなど、個人情報保護に努めながら検討している。「手挙げ方式」は参考にしていきたい。

質問

一人暮らし高齢者や障害者世帯に、家具転倒防止

の器具の配布と取り付けを。

健康福祉部長

対象世帯が

多く、家具配置の把握も困難なので、市としての実施は考えていない。ボランティアの協力を得ての実施などは研究したい。

質問

二次避難場所のバリアフリー化を進めよ。

市民生活部長

災害時は不

特定多数が利用するので、改善整備を検討していく。

スキー場休止後の地域振興策

質問 若者が定住できる地域振興策を住民参加型で進めよ。

市長 今後の地域振興策

は、住民参加型を基本としていく。自然・伝統文化・地域コミュニティを生かし、若者が定住できるまちづくりを、住民主導で進めたい。法政大学等のまちづくりへの参加も積極的に取り組みたい。



古河 尚訓

Q 今後の支所のあり方について再検討が必要ではないか

A 災害時の対応から合併協議会での決定を再考したい

支所のあり方の再検討を

質問

能登半島地震を身内が体験した。白山市も災害時の初期対応には支所の役割が極めて重要。行革大綱で、支所はサービスセンタ―とし、本庁方式へ移行となっているが、今一度方針の再検討が必要ではないか。

市長

合併協議会での協議を受け継いだものだが、行革大綱は5年間の移行を明記したものではない。しかし、一昨年の大雪や能登半島地震の教訓から、災害時の対応、地域の拠点的作用を担っている支所のあり方を踏まえ、合併協議会での決定を再考したい。

独自の教育施策を検証せよ

質問

白山市は他の自治

体にはない独自の教育施策を進めてきた。しかし、財政論理優先で議論される状況が見られる。市民や他の自治体に発信するためにも事業の検証が必要ではないか。また、教育現場に協力を求める際には、従来の形式的な報告業務の見直しを求めたい。

質問

「コモチカツラの保護を

対面し、その植生や周辺環境から現状の遊歩道を延長することでは、保護にはつながらないと感じたが、どうか。

教育部長 これまで県や

地元関係団体が、保全や歩道、標識等の整備をしてきた。今年度以降の遊歩道整備の計画はなく、今後、市の指定文化財として次世代に引き継ぐことを前提に地元関係者の皆さんと改めて考えたい。

教育長

少人数学級は、

きめ細かな教育推進に役立っていると考ええる。しかし、学校規模により配置教員数や学校設備等で問題点が起きていることから、2年生は少人数学級か少人数授業かを学校長が選択できるようにしたい。学校図書館司書の全校配置は図書館活用や読書指導に効果が上がっており、今後も続けたい。報告業務の見直しも、国・県以外の市の業務は



貴重な自然遺産として保護したい「コモチカツラ」



水上 俊明

Q 数値目標なくして健全財政は実現できない

A ご指摘のように財政健全化に一層努めていく

健全財政を実現するために先憂後楽の精神で行政経営を行ってほしい、という思いから今回も財政に関する質問を主に副市長に行う

市長 24年度ぐらいにいは、大体15%以内に収まると思う。

質問 金沢市と本市とはそもそも成り立ちが違うものの、金沢市は平成18年度で実質公債費比率15%の実績を挙げている。当市でもやはりそういうことを心がけていかなければならないのではないかと。

市長 24年度ぐらいにいは、大体15%以内に収まると思う。

市長 水上議員の考え方をしっかりと中期財政計画に取り入れ、検討する必要がある。

財政の健全化に努めるといふ言葉ではなく、具体策を示してもらわなければ多くの人々が安心できない、という思いから、中期財政計画の一つに実質公債費比率を15%に抑えるという具体的な目標を設定しなければならぬと思うが、対応を問う。

副市長 公債費負担適正化計画を作成し、平成25年度には18%未満になる見込である。

いくらになるか。

また、その借金総残高を単純に住民一人当たりで割り振ると、負担額は何万円になるのか（平成17年度でそれが140万円と多かった）、それとの対比を確認してもらったための質問。

副市長 中期財政計画の平成23年度分を基に試算すると、15%に相当する一般会計の市債（借金）残高は580億円程度になる。

また、その一人当たりの金額は約50万円となる。

市債残高は減らしていかなければならないが、財源不足で19年度も繰上償還はできない。むしろ市債の借り換えによって借金償還の先延ばしなどを検討しなければならぬ、と危惧している。

質問 当市の実質公債費比率が19・8%で厳しい状態にあることがわかっていてという前提で、収入及び金利が平成17年度と同じ水準で推移すると仮定した場合、実質公債費比率15%に相当する借金総残高（一般会計以外のものも含む）は



小川 義昭

Q 観光施策の縦割行政を排せ

A 各部署と連携を密にし、観光施策を推進する

食育問題
『知育・徳育・体育の基礎は食育にあり』

質問 食農教育についての取り組みの現況と今後の方針について問う。

質問 本市の食育の推進計画の策定及び推進体制を問う。

市長 市健康プランで幼児期などライフステージ別に行動計画を策定し、関係部署が連携し健康づくり推進会議などの進捗管理により推進していく。

質問 学校現場における栄養教諭の配置状況及び食育マニュアルの制定について問う。

教育長 食に関する指導は学校教育活動全体で行われているが、本年9月に1名の栄養教諭の配置予定で、さらに充実する。また、「食に関する指導の手引」を基に各学校でそれぞれのプログラムの指導を行う。



田んぼに触れ合う小学生

質問 食育を通して子育て中の親の再教育支援策について問う。

健康福祉部長 各母子保健事業において食事、栄養の指導を行っており、保育所や幼稚園では保護者に対し給食便りの発行や講演会を実施し、子どもの健康を守るため、正しい生活習慣の情報提供を行っていく。

観光行政問題

実施を行っている。今後、地域の各分野で農業に携わることで食の重要性をPRしていく。

質問 縦割り行政を排除し関連部署との連携を緊密にし、専門家集団づくりを構成せよ。

市長 観光は地域振興や地域活力の面からも極めて重要な基幹産業である。今後各部署と緊密な連携を図り、連絡会議を毎月開催し、観光施策を推進する。なお専門化集団づくりは、関係関連団体がそれぞれの地域の個性を発揮し、主体的に取り組めるよう育成・支援に努める。



北川 謙一

美川小学校建設にむけて

質問 6月補正予算案

で、市長から美川小学校の改築事業に当たっては、これまで防衛施設庁の補助事業の採択を要望してきたが、このほど美川地区の騒音測定の結果、防音事業の対象から外されたことにより、補助事業採択を受けられないという事態は、財政当局としては頭が痛い状況ではないか。

平成17年第4回定例会で、建設年次に関する質問をした際、市長から「おおむね平成22年度の完成」と答えをいただいたが、現時点でも完成年次に変更はないか。

また、昨年9月に出された美川小学校建設基本構想検討委員会の答申書には、135年の歴史的な背景を踏まえ、何点かの検討結果が示されたが、これらの提

Q 美川小及び放課後児童クラブ建設の対応示せ

A 防衛省の補助がなくても計画どおり建設を進める

言がほごにされるのではなく、児童保育の複合施設を建設し、市長に問う。

市長

去る、5月17日より行われた小松基地での日米共同訓練の際に行った騒音測定によると、補助対象となる騒音が記録されず難しい状態となった。防衛施設庁の補助がなくとも、当初の予定どおり、今年度基本計画、実施計画を行い、来年度より工事着工し、基本構想検討委員会の答申に沿った学校になるよう、計画どおりに事業を進めたい。

美川地区放課後児童クラブ施設整備について

質問

美川児童ふれあいクラブは、町内会の集会所を間借りしているが、美川小学校建設時に、隣接した土地を利用し、児童館と学



建設予定の美川小学校



村本 一則

災害時の命令伝達システムの整合性は取れるか

質問

白山市の現体制では災害時、本庁は市民生活部の中の防災安全課が中心となり対応する。しかし支所では総務部傘下の総務課が対応窓口となる。石川県も今年度より危機管理監室を環境安全部より新設し、危機管理に対応することになった。白山市も命令系統の整合性を維持するため、組織機構の見直しを検討すべきではないか。

整合性をもつての連携は大変に重要である

市長

石川県内で一番大きな市域の白山市。それぞれの支所と本庁との連携、情報に迅速な対応が大切であり、連携を密にするために、消防本庁舎の災害本部設置も

Q 災害発生時、本庁と支所間の連携は迅速にできるか

A 現組織の対応で問題ないと思うが見直しも検討する

含め、組織の見直しを行う検討が必要である。

市長

白山市には9名の災害ボランティアが登録されている。市広報やホームページ等で重要性を周知し、学校での教育も行うが、市民に啓発を行うとともに、防災訓練を通じ人材育成にも努めていく。

その他の質問

質問

災害時、緊急通信手段として、アマチュア無線クラブの協力体制の検討は。

市民生活部長

防災ボランティアの一環としてアマチュア無線クラブ等へ応援要請を行っていく。

質問

白山市の防災士の人数の掌握状況は。

市民生活部長

石川県内に249名、内白山市には16名在住している。



見直しが必要な組織機構

災害ボランティアの育成対応は

質問

大規模なこれまでの地震の復興には、災害時のボランティアの奉仕活動が目覚しく、大変に重要であったことが報告されているが、自己完結型のボランティアの育成と登録、受付体制をどう考えているか。

白山市として充実を図っていく



水門設置を待つ河川合流点



中西 恵造

Q 地産の育成と地消の推進を 求める

A 白山ブランドの育成と新しい 産業の確立に努める

浅川・西川の浸水被害を防ぐ

質問 白山ろくでは漢方薬の加賀黄蓮を栽培し、胃薬に使用している姿は素晴らしい。

さらに国際間・産地間競争が激化していく中、地域農業の育成には地域ブランドの開発発展が欠かせず、地域で採れた物は地域で、消費・加工・商品化・残さの堆肥化という循環型産業の育成が大切だ。

市長 地元企業と連携して白山ブランドの育成と新たな産業の確立を図る。

質問 浸水被害に対する住民の不安は日ごとに増している。昨年、北嶋議員の質問に「真剣に取り組む」と答えており、私との会話の中にも「任期中に何か方向付けをせにやいかん」と話していた。その言葉の中に市長の並々ならぬ強い意志を感じた。改めて本件の進捗状況と市長の決意を問う。

市長 今年度は手取川の低水護岸工事に着手と聞いている。樋門・排水機場の設置も含め早期完成を働きかける。

浅川は、昨年度は基礎調査、今年度は雨水排水計画の見直しを積極的に国・県と検討したい。

農地・水・環境保全国上活動の充実を求める



農地・水・環境向上活動

質問 本事業は5力年間事業であるが、施設の維持という観点から長期的事業になるよう国・県への働きかけを求める。また、施設の延命や管理の省力化という点からも、例えば、のり面にモルタル被覆・セメント板等を置いて、抑草効果を持たせる作業等にも本事業の活動範囲になれば、さらに値のある事業になっていくと思うがどうか。

産業部長 5年間の継続事業であり、その間に、より効果的な事業になるよう国・県・関係機関に働きかける。



藤田 政樹

Q 松任地区における中心市街地の定住化策を示せ

A 街中活性化や定住促進策は 今後調査研究していく

都市計画マスタープラン策定にむけて

質問 計画はいつごろから進めるのか。

市長 今年度においては、庁舎内における各部所のワーキンググループを立ち上げ、事前に調査の準備を行い、平成20年度に策定委員会の開催とアンケート調査の実施を考える。

質問 マスタープラン策定委員会の構成メンバーについて問う。

市長 市民及び各種団体の代表、学識経験者、市議会議員、関係行政機関の職員を含む20名前後の組織で考えている。

質問 都市計画マスタープランにおける農用地保全について問う。

市長 内容によっては、都市計画の見直しに合わせ、農業振興地域整備計画の見直しも必要であると考えられる。

質問 野球場の整備計画について問う。

市長 白山市として、どのような野球場が必要であるかという検討の中、場所や規模を検討していく。

千代野ニュータウンの再生計画について

質問 来年、町会設立30年を迎える千代野ニュータウン。

当初、県が考えた市街地から脱皮して、住民主体の成熟した市街地へと、オールドタウン化の問題に対応しつつ、21世紀のモデル都市として、現在住んでいる方々の意見から再生計画を立ててはどうか。

環境教育について

質問 環境教育の取り組みを問う。

市長 各種環境講座の開催などを考えている。

教育長 市が持つ豊かな自然の体験活動を行う。



本屋 彌壽夫

Q 補助事業施行の温室、畜舎、果樹園の底地はどうなる

A 農業者の英知を結集し、施設の有効利用を図る

質問 白山市都市計画マスタープラン策定時において、旧松任地区のさきに掛けた網を一度外して、白山市全体を見て、新たな線引き、網掛けをしたかどうか。

また、各町内の外周道路の内側にある農業基盤整備にもかからない土地を、地主の希望で宅地として販売できるようにならないか。

するためには、市街化区域に編入した上で、区画整理事業や、地区計画を策定しての開発行為が考えられる。

産業部長 農業者の高齢化、担い手不足、施設の老朽化で生産意欲が低迷して

質問 国の農業構造改善事業、県単営農団地育成事業、稲作転換特別対策事業で施行した、ガラス温室、牛舎、梨団地造成等の利用の複合経営を推進する。

いる。国の所得安定対策に基づき、担い手の育成と生産組織の強化、水稲と野菜



梨の根が山積みになされた廃園



河原 秀昭

Q 手取川の濁り水を解消し昔の清流を

A 土砂の流出を抑制する治山、治水の推進を働きかける

質問 手取川の濁り水解消対策については、私をはじめ多くの関係者が質問及び要望書を提出しているが、現在でも濁り水の解消はされていないと思われる。本市の要望に対して国、県の回答及び進捗状況は。

市長

手取川は白山を源に日本海へ流れる石川県を代表する河川であり、河川水質については全国ランキング上位に位置する水質を維持しているが、台風などで大雨が降るとすぐに増水し、土砂流出を起こす日本

有数の急流河川でもあり、濁り水の発生は、白山の火山噴火物からなる崩壊土砂等の細粒土砂が流出すること等多くの要素が複雑にかみ合っている。原因を明確に特定できないものであるが、国では、手取川水域の河川整備計画において、濁り水供給源の特定調査の実

施と土砂流出の抑制対策を講じることになっている。

質問 昔の手取川の清流を取り戻すため、今後の本市の取り組みは。

市長 本市としては、計画に基づく早期調査の実施と土砂の流出を抑制するための治山、治水の推進を今後も国、県へ強く働きかけていく。

国内外の観光客の誘客について

質問 入り込み客数増加のための今後の取り組みは。

観光推進部長 豊かな自然に恵まれた観光資源の有効活用、また、観光ガイドとインストラクターの育成、そして、「見て帰る」から「泊まって体験、体感」と

「泊まって体験、体感」と環境白山地域との連携強化と

情報発信を4つの柱とした施策を実施し、交流人口の拡大を図る。

質問 外国人観光客の誘客の取り組みは。

観光推進部長 県及び加賀白山海外誘客推進協議会等と連携を密にして誘客に努める。



外国語版の観光パンフレット



清水 芳文

Q コミュニティバスに「筆談ボード」を設置せよ

A 聴覚障害者小規模作業所の手作り筆談ボードを設置

観光施策に提案

①白山市内の登れる山を網羅した「白山市・登山マップ」を作成し、白山市のホームページに掲載することを提案する。②ア

私たちの町は自分たちで守るという組織を自主防災組織として認めてはどうか。自主防災組織の機能アップと、未結成の町内会へ啓発せよ。②防災士の育成を図れ。③できる地区から防災協会を設置せよ。

保育料の軽減策

①ひとり親世帯や在宅障害者のいる世帯に対する保育料の軽減策を拡大せよ。②同時入所の第3子以降の保育料を無料にせよ。

登山コースとして観光化してはどうか。

観光推進部長

①山岳協会の意見を参考に、登山客が利用しやすく、わかりやすい登山マップの作成に向け検討する。ホームページ「観光チャンネル」で情報発信する。②スキー場には隣接した山を含めた登山コースがある。利用促進を図りたい。

コミュニティバスの利便性

質問

①コミュニティバスにAEDを搭載せよ。②聴覚障害者の利便性を考慮した筆談ボードの設置を提案する。



コミュニティバスに設置された筆談ボード



寺越 和洋

Q ホームページに就職紹介を公表せよ

A ハローワークと協議をし、ホームページに掲載予定

質問

就職の紹介・斡旋をハローワークや商工会議所・各商工会と連携を図りホームページで公表せよ。また、市内の企業の就職募集状況を掲載せよ。

産業部長

ハローワークと協議し、市のホームページに掲載予定。

市長

警察と連携をとり進めていくことが必要。

総務部長

4月の部課長会において県警より講師を招き研修をし、5月28日に現状と対策の説明を受けた。

近年の被害はなく、県の手引きを活用している。また、7月に全職員を対象とした研修会を予定し、要綱により対応している。

都市計画マスタープラン策定に、市民の声を

概ね10年後を目標とする。

また、7月に全職員を対象とした研修会を予定し、要綱により対応している。

都市計画マスタープラン策定に、市民の声を



県外の市役所の就職情報コーナー

行政対象暴力の現状は

質問

行政対象暴力の考え方と現状はどうか。また、被害防止策の職員への周知状況は。さらに被害を受ける前に接遇マニュアルで周知徹底を図れ。また、条例を制定せよ。

市長

また、用途地域の見直しの有無と、何年後の都市像を計画していくか問う。

総務部長

平成21年度を目標とし、今年度は、都市計画基礎調査と策定委員会、幹事会の委員の選考を行う。

アンケート調査を行う。アンケート調査を行い、広く市民の声を聞き、地区別懇談会も開催する。

用途の見直しは、重大な協議なので、具体的な見直しはマスタープラン策定後となる。そして、概ね10年後を目標とする。

また、7月に全職員を対象とした研修会を予定し、要綱により対応している。

都市計画マスタープラン策定に、市民の声を

概ね10年後を目標とする。



市田 伸弘

Q 松任高校に普通科の新設を

A 可能だと思うので、実現に向けて努力していく

質問 全国の自治体の財政状況は深刻な状況で、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が国会において審議されている。

国の地方財政計画や実質公債費の基準の変更等、起債制限が強化され、今後の財政状況はますます厳しくなることが予想されるが、合併当初に旧市町村と合意していた合併特例事業が変更なしに実施できるのか。

市長 実質公債費比率が25%を超えると影響が出る。まちづくりに必要な合併特例事業が、計画的に実施できるよう、健全な財政運営に努めていく。

質問 松任高校は生徒数が減少し、存続を危ぶむ声さえ聞かれる。以前は10クラスの県内最大級の高校であったにもかかわらず、現

在は4クラスに減っている。大学への進学志向が多い現在、総合学科だけでは工業高校や商業高校のように免許が取れるわけでもなく、進学するためにも十分な準備ができるわけでもなく、中途半端な状態で終わってしまう現状に問題がある。普通科が1クラスでもあれば、また人気も回復できるのではないか。

県内各市に在住の中学生が、地元の普通科高校にどの程度進学するのかを調べると、平成17年度では、七尾市37・6%、羽咋市33・6%、輪島市40%、加賀市32・2%で、同規模の小松市は、50・6%に対し、白山市内の中学生は11・2%とあまりに違いすぎる。普通科を希望する白山市内の中学生のほとんどが、白山市外の高校へ進学している現状は、ちょっと寂しいの

ではないか。



松任高校

市長

現在、松任高校は総合学科のみ4クラスで、普通科でもなく、職業学科でもない第三の学科であることから、国立大学からの推薦枠や、職業専門系の大学や学部からの推薦がない状況だ。来年度の実施は難しいが、可能だと思うので、強く要望し、実現に向けて努力していく。



南 清人

Q 有害鳥獣対策をどのように考えるのか

A 捕獲、すみ分けを積極的に行う

鳥獣害対策の方針は

質問

山間地の過疎化による人口減少に伴う労働力の減少や高齢化などにより、集落周辺の山林や農地の放棄され、イノシシ、クマ

そしてカラスなどに加えて外来生物と言われているハクビシンによる被害が増えているが、その対策を問う。

市長

猟友会や地域住民をはじめ関係機関と連携・協力を密にし、鳥獣の捕獲、さらには鳥獣とのすみ分けを図るための里山整備など鳥獣害対策を積極的に講じたい。

子どもたちの安全対策は

質問

クマの出没に備えて、子どもたちの安全確保の観点から対応を問う。

教育長

関係機関との連絡を密にし、情報の共有化を図り、出没の状況によっては臨時的にスクールバスの増便やコミュニティバス、路線バス等の利用などを必要に応じて検討する。

産業部長

市としても、今後の鳥獣害対策に支障を来すのではないかと大変危惧している。市では有害鳥獣対策として捕獲に係る経費を負担しているが、有害鳥獣が増加傾向にあることや、猟友会、育成の観点から今後も継続して猟友会を支援していきたい。

猟友会、育成対策は

質問

鳥獣被害対策において、有害鳥獣の捕獲や個体数調整の活動は、猟友会を抜きには考えられない現状であるが、狩猟免許の保持者や、会員数の減少といった問題があり、今後の育成対策を問う。



荒れた農地、防護柵内での畑作



公立つるぎ病院「医療相談室」開設

市長 単なる医療相談にとどまらず患者擁護、アドボカシーの考え方も取り入れた支援、代弁活動をはじめ、総合的サービスの充実をめざす。

質問 患者さんの強い要望で、公立つるぎ病院に5月から医療相談室が開設された。これまで職員の対応、医療での疑問など、さまざまな不満の声を聞く。そこで患者側に立ったアドボカシーの考えを取り入れた医療相談室を提唱する。



宮中 郁恵

Q 医療相談室の充実を図れ

A 患者権利擁護の充実をめざす

アドボカシー

患者とともに患者権利の擁護のために闘う、支援活動、代弁活動という意味

はしか抗体検査・予防接種を急げ

質問 はしかがゴールデンウィーク前から関東地方で、若者を中心に集団発症し、流行が依然続いている。6月8日現在、県内での発症状況は、合計で58人。初夏にかけて患者数がピークとなり、感染予防の早急な対策が必要。高額な予防接種に、一部助成の考え、感染すると大人は重症化、妊婦は流産、死産の原因となることもあり、市民に対し、周知を図り、不安を払拭せよ。

質問 はしかがゴールデンウィーク前から関東地方で、若者を中心に集団発症し、流行が依然続いている。6月8日現在、県内での発症状況は、合計で58人。初夏にかけて患者数がピークとなり、感染予防の早急な対策が必要。高額な予防接種に、一部助成の考え、感染すると大人は重症化、妊婦は流産、死産の原因となることもあり、市民に対し、周知を図り、不安を払拭せよ。

教育部長 市内全施設で「ほけんだより」を通じて、保護者に予防について注意を喚起するとともに、感染症に関する情報発信を行っている。今後、関係機関と連携し、対策を強化する。

市のホームページで予防接種を勧奨、広報でまん延防止の啓発を行う

健康福祉部長

白山市で6名が発症、小中学校に於いての発症はゼロ。昨年度から1歳児と年長児に2回接種となった。昨年、未接種の方々すべてに接種の勧奨通知をし、100%の接種を図る。この年齢以外の方は、全額自己負担をお願いする。

議会レポート

クールビズで審議される

白山市議会では、CO₂排出削減による地球温暖化防止に少しでも貢献しようと、6月議会はクールビズスタイルで審議しました。



在職25年表彰を受ける

徳田巖議員は、昭和56年12月に松任市議会議員に当選以来、議員活動を続けられています。

このほど、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から在職25年の表彰があり、6月21日の本会議前に北村議長から伝達されました。

白山市議会では7月20日、新潟県中越沖地震の被災地に義援金を送ることを決定し、所属議員34人が計35万円を新潟県災害対策本部へ送りました。



白峰地区・瀬戸地区の 未分譲宅地の販売促進を

総務企画常任委員会

未分譲宅地の販売促進を

質問 合併前に自治体が造成した白峰地区、尾口地域の瀬戸地区それぞれの未分譲宅地は何区画あるか。

答え 白峰地区の分譲地は13区画のうち2区画分譲済みである。瀬戸地区分譲地は、商用地6区画のうち3区画分譲済みで、一般住宅としての販売への転換も考えられる。

意見 いつまでも放置しておくことはできないので、販売方法の見直しも十分に検討し、販売促進に努力していただきたい。



白峰地区の分譲住宅地「天河の郷」

工事監理体制を十分に

質問 白山市統合小中学校建設における工事監理体制はどのようになるのか。

答え 1級建築士2人を含む市の監督員4人、補助監督員として監理委託業者から1級建築士1人と設備技師2人の合計7人での現場監理体制を考えている。

自治基本条例における 市議会の位置付けは

質問 自治基本条例の制定において、市議会議員はどのようににかかわるか。

答え 住民自治に関する基本的事項を定める最高規範的なもので、議会に関しては、市民から見て「議会がこうあってほしい」ということを観点とした内容を考えている。

意見 議会の部分については、市議会議員が議論に参加し、議会基本条例を念頭において議論した方が意義ある自治基本条例になると思う。

保育士の法人保育園との 相互交流を考えられないか

質問 保育士の募集に関して、保育所の民営化を進める中で、新規採用は行わず、市の保育士と法人保育園の保育士との相互交流で対応できるのではないか。

答え 議論したが、保育所すべてを民営化することは困難であり、正規職員と臨時職員の比率を考え、募集に踏み切った。

白山市一斉ラジオ体操で 健康づくりを提案

文教福祉常任委員会

千代野児童クラブも整備

質問 千代野小学校の大規模改造工事に伴って、放課後児童クラブの部屋も改修されるが、現在、集会所を使用している「千代野ありんこ学童クラブ」も小学校内に移転するのか。

答え 工事は11月末には完成予定。「ありんこクラブ」が入るかどうかについては、もう少し協議していきたい。

統合小中学校 受験生に不安はないか

質問 統合小中学校は、平成20年4月開校、吉野谷の校舎に通学し、2学期から新校舎へ引越すことで、中学3年生に不安は生じないか。

答え 2回の引越しは受験生に心理的影響がないかという声もあったが、新校舎は教科教室型で掲示や機器が整っているので、3年生にとっても、より学習効果が上がると期待している。

その他の審議事項

質問 松南小学校、朝日小学校の改築に向けて、建設検討委員会はいつ設立されるのか。

答え 夏ごろには設立したい。

質問 昨年8月に松任総合運動公園でラジオ体操が行われたが、毎年行つてはどうか。

答え ラジオ体操や健康づくり事業には公民館の自主的取り組みが重要なので、取り組みのきっかけづくりを進めていきたい。

質問 子供たちはラジオ体操をよく知らないで、学校でちゃんと教えられないか。

答え 普段の授業には教えないが、機会をとらえて指導したい。

意見 保育所や学校の講演会、地域懇談会のときに、子供の育成に一步踏み込んで家庭環境の大切さを取り上げてほしい。また、親に対して食育をはじめ、きめ細かい指導をされたい。



山島地区サンデーウォーキングのラジオ体操

生活経済常任委員会

今シーズンの市営スキー場の運営はどうなるのか 「中宮」は休止、「白峰」は60日程度の営業

市営スキー場全体の 1シーズンの指定管理料は

質問 市営スキー場全体について、1シーズンの指定管理料は幾らか。

答え 18年度決算額は、4億98万1000円。今シーズンは、「白峰」が60日程度の営業で昨年並み、「中宮」については休止となり、8000万円前後の減額が予想される。

白山市ホームページ バナー広告の応募状況は

質問 白山市ホームページバナー広告の応募状況を示せ。

答え 今年4月の募集開始時点で、6社の応募があった。その後、新たに2社申し込みがあった。

地方物産アンテナショップ 開設にかかる白山市特産 品出展について

地方物産アンテナショップ 「ふらっと新宿」

要支援者の就労機会を提供する場として、新宿区が開設。これに伴い、新宿区から白山市をはじめ、これまで友好関係にある自治体に対し、特産品出展依頼があり、白山市の特産品展示販売を通して、広く首都圏の方々に知っていただく有効な手段ととらえるとともに、首都圏での観光PR活動の拠点となる。テナント料は無料。



地方物産アンテナショップ
「ふらっと新宿」が出店予定のビル

質問 これまでのテナントとの違いは何か。

答え これまでは、毎年10月中旬に開催される大新宿区祭りにて、テナントの中で販売や観光PRを行ってきた。アンテナショップが開設すると、年間を通じ、建物の中で行える。また、単独事業で行うと、テナント料や販売員の雇用など、多額のお金がかかり、売り上げに見合った収益が見込めなかったが、今回テナント料はかからないので有利と考える。

質問 アンテナショップと市や観光物産協会のかかり方はどのようなになるのか。

答え これまでの1、2日間のイベントについては継続となり、それにプラスして、この事業が入る。白山市観光物産協会については、市と歩調を合わせるような形で進み、市単独というより、観光物産協会を通じた形で運営となり、品物の出展を行う。

水道料金の滞納対策について (東北へ行政視察)

去る5月15日から17日までの3日間、秋田県横手市、岩手県矢巾町、北上市、奥州市を視察研修してまいりました。

秋田県横手市 JR横手駅前を整備

横手市はJR横手駅前を市街地再開発事業として整備してまいりました。本市と同様、郊外へ大型商業施設が移転したことにより、中心市街地の空洞化が進んだため、商業地としての誘客のほか、市民の健康増進施設や、交流機能を導入し、楽しく散策ができる回遊性の機能を備えた町づくりをめざしていました。

岩手県矢巾町 水道料金の滞納対策を強化

矢巾町では、水道料金の検針票に企業広告を掲載し、収入を得ているほか、職員が「料金の未納を絶対なくす」という強い意識のもと、給水停止も念頭に入れ、料金徴収業務に当たっていました。支払いの方法としてコンビニも利用でき、納付書発行のうち約7割がコンビニを利用されています。今後、白山市においてもコンビニが利用できるようになれば、市民の皆さんも納付しやすくなるのではないかと感じました。

岩手県北上市 水道業務を民間委託

北上市では、本年4月から水道料金の徴収業務を民間企業へ委託しています。民間企業の持つ経験を生かし、窓口業務、開閉栓業務、検針業務、滞納整理業務などを委託するものです。経費削減やサービスの向上などを目的としています。一歩の目的はやはり、滞納をいかに少なくするかということでした。

白山市も料金の滞納が最近多くなっています。上下水道料金のほか、市民税、国民健康保険税、給食費など、今後いかに市民の皆さんの理解を得て、滞納を減らしていけるかが大きな課題となっています。

そのほか、奥州市では「蔵」を中心とした町並みを整備し、地域の活性化をめざしていました。



「蔵町モール」にて

子どもの声

「白山市になって」をテーマに
鶴来地域の中学生から、ご意見をいただきました。



雄大なる手取川 山口敦己さん（鶴来中学校3年生）

白山市は、雄大にそびえ立つ霊峰白山の下に広がっています。しかし、このはるかに広がる平野をつくり上げたのは、手取川ではなかったでしょうか。手取川は、僕たちに多くの恵みを与えてくれます。しかし、昔は傍若無人の暴れ川でした。それを治めようとしたのが、枝権兵衛でした。

鶴来出身の枝権兵衛は、田畑に水を引くため、長い年月をかけて、トンネルや水路を造り上げました。もちろ

ん、トンネルを造るときには、地域住民の反対もありました。さらに、一時は計画自体がなくなりそうになりました。しかし、最終的に彼は用水を完成させ、そのおかげで、今の私たちの豊かな生活があるのです。

白山市には、手取川だけでなく、ほかにも多くの自然があります。そして、昔の人々は、その自然の猛威を乗り越え、豊かな町をつくりました。ぼくらは、そのことを忘れずに自然と共生しなければならないと思います。



蛍のすむ市へ 作田希美さん（鶴来中学校3年生）

過去に、私の住んでいる鶴来にも、蛍がたくさんいたそうです。しかし、時とともに減り、ついには見ることも少なくなりました。蛍のやわらかな光を知らない。今、そんな人が増えてきたのではないのでしょうか。

蛍は暗闇に生きる虫です。しかし私たちは、夜は電気でおもむくことによって、そんな蛍から暗闇を奪っているのです。

世の中が発達していくのに伴って、白山市も「人工の光」があふれる都市になるでしょう。しかし、以前からあった「自然」の光は、少しずつ見えなくなっています。蛍の光、月と星の光、夜に見られる「光」は、人工のものに変わっているのです。

このままでは、自然と共生する市はつくれません。私たちは協力して、この自然を守る活動を行うべきだと思います。そしていつか、この白山市のどこでも、蛍が見られるようになることを願っています。



白山市の誇り 片山浩樹さん（北辰中学校3年生）

白山市は、8つの市町村の合併によって誕生しました。8つもの市町村が合併したということは、つまり、それだけ大きなことを成せるようになったということです。しかしその反面、市町村が合併し、大きくなったことで、自分の住む市の良いところを知っている人は少なくなってしまったと思います。

「白山市はどんな場所？」と聞かれると、ほとんどの人

は何も答えられないか、「自然が多い場所」と、漠然としか答えられないかもしれません。具体的に答えられる人は少ないと思います。

よく考えてみると、良いところはたくさんあります。まずは、手取川という大きな川があること、そして、窓から白山が見られることなどです。これらの自然は、白山市の良いところであり、また誇りでもあります。

私たちがもっと白山市に胸を張り、その良さを他の地域の方々へ伝えることができるとよいと思います。

編集後記

3月25日に発生した能登半島地震は、輪島市をはじめ能登地方を中心に大きな被害をもたらしました。さらに、7月16日午前、新潟県中越沖地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。

被害に遭われた方々に白山市議会として、心からお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い生活再建、地域産業の復興を願うものであります。

「白山市議会だより」も発刊から丸2年が経過いたしました。6月定例会において6人の編集委員のうち2名

が交替となり、委員長、副委員長を新たに選任し、心機一転、市民の皆様に進んで読んでいただける「白山市議会だより」となるよう、編集委員一同努力しますので、今まで以上のご支援とご意見をよろしくお願いいたします。

〈編集委員一同〉



訂正とおわび

「議会だより第8号」のP20「子どもの声」で「松本明子さん」とありましたのは、「松本明子さん」の誤りでした。訂正いたしますとともに、本人並びに関係の方々にご迷惑をおかけしましたことを深くおわびいたします。

■編集委員会

委員長：南 清人 副委員長：小川 義昭

委員：河原 秀昭、竹田 伸弘、北川 謙一、西川 寿夫

発行日／平成19年8月1日 発行／白山市議会 編集／議会だより編集委員会 事務局／白山市議会事務局庶務課

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 TEL：076-274-9580 FAX：076-274-8510

E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp ホームページ：http://www.city.hakusan.lg.jp/

100

古紙配合率100%
再生紙を使用しております。

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は大豆インキを使用しております。